

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスふあーもにー					公表日 令和7年12月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用定員10名 (廊下等除く) 活動室面積51.4m ²		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		概ね児童2人に対して1人の職員配置を心がけている。児童の状態によっては加配するなど配慮している。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		全館バリアフリー化されている。障害の特性に合わせ、情報量を調整し分かりやすく過度に刺激を受けないよう配慮している。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		定期的に玩具の消毒、エアコンフィルターの清掃を実施。サービス終了後の活動室及びトイレの清掃を実施している。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		児童の特性に合わせてパーティション等でスペースを設け対応している。	音刺激を回避するための設備は不十分であり、イヤーマフ等で調整している。回避できるスペース等調整が必要である。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月一回スタッフ会議を開催し年度の目標の確認及び振り返りを実施。目標管理シートを作成し年3回の面談を実施している。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ガイドライン評価を保護者へ実施。事業計画の見直し等に反映させている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月一回のスタッフ会議を設け、ケース及び活動の検討を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価は実施していない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		年2回の法人全体研修、eラーニングを活用したオンデマンド研修、外部研修に参加している。		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページ等で公表している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		年一回ご家族に聞き取りを実施。年二回アセスメントを実施し、個別支援計画に反映させている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		月一回開催されるスタッフ会議等で支援方法等共有している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		毎日の朝礼等で支援手順の確認を実施。モニタリングを週一回記入する事により計画を都度確認しながらの支援を意識する環境を作っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		Vineland-II適応行動尺度の評価項目、ABC分析を参考に独自のアセスメント様式を作成している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		児童の発達段階に応じた支援計画を作成し、計画内にて具体的な支援内容を示している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		療育活動については各活動担当者が立案し児発管と検討し実施。当日の利用状況に合わせた変更は打ち合わせ時に確認し実施している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		定期の療育活動は4種類実施。各療育活動の活動テーマは毎月変更。毎年、次年度の活動内容を見直し改善している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりに必要な支援の中で重点的に取り組みたい内容について計画に反映。療育活動については「一人ひとりの子どもにとっての課題」に対し支援を行い、子どもの状況に応じて計画に反映させている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日の打ち合わせを行い、事務連絡、支援上の留意点、ケースの引継ぎ事項、職員の動き等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援後、日報へ記録し、次の受入日に支援の実施情報の共有や支援内容の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		簡易のヒヤリハット報告書を使用し、改善点を検証。支援会議では、情報共有と支援内容の検討を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		こまめにモニタリング記録をとり、モニタリング期間に合わせて、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		始まりと終わりの挨拶、レクリエーション・買い物・シーズンイベントなどを組み合わせて支援を実施している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動により行きたい場所、食べたいもの、作りたいものなど、文字・イラスト・写真・実物等を用いて意思表出を促している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて児童発達支援管理責任者が出席している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて他放デイ・学校と連携し情報共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		ご家族を通して都度情報提供を受けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		利用開始前に担当者間で情報の引継ぎ等を実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		ご家族の要望に応じて卒業後の事業所への情報提供を実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターが開催している研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		夏休み等に体験ボランティアを募り交流の場を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		豊明市自立支援協議会の開催する研修への参加、権利擁護に関するプロジェクトチームに参画している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳を希望されるご家族には連絡帳を活用。他、送迎時にその日の様子を伝達している。必要に応じて電話等によりコミュニケーションを取っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	ご家族に向けて研修の機会や情報提供は行っていない。	ペアレントトレーニング等の保護者向け講習等は行っていない。希望があれば検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		重要事項説明書により説明している。更新される毎に書面配布し必要に応じ説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		子どもへは視覚的に分かりやすいよう絵や写真でスケジュールを説明。保護者へは直接確認すべき内容について速やかに電話連絡を実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画更新の都度書面にて確認をいただき署名捺印をもって同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		適宜受け付け、必要に応じて助言等行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	交流する機会は設けていない。当事者の親の会様等の見学は随時受け入れている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		法人の苦情対応マニュアルに沿って対応し、記録等保管している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月25日頃に事業所から連絡事項、活動の月間スケジュール、療育情報を載せたお知らせを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人名が記載されている書類については事業所内で回覧時は表紙を必ずつけている。個人ファイルはカギ付き書庫に保管している。(契約時に「個人情報同意書」の提出確認。)	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		写真、絵カード、翻訳機等特性に合わせた情報伝達を行うよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	以前は、町内会と合同で秋まつりを開催していたが、コロナ禍以降は未実施である。	新たな地域交流の在り方を検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種警報発令時対応は毎年4月にマニュアルを配布。感染症対策は手紙内で告知。防犯マニュアルは未作成だが建物に防犯セキュリティーを整備している。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCP策定済み。11月に机上訓練を実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		予防接種に関しては未確認。服薬・てんかんについては医療アセスメントにて状況確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	現在までにアレルギーへの対応が必要な児童の受け入れ実績がない。	利用を受入れる際は連絡体制を設けたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成済み。訓練・研修の開催時期見直し時期等が一覧になっており都度更新している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		非常災害時の対応等マニュアルを作成し安全が確保されるよう整備すると共にご家族に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ミニヒヤリ、ヒヤリハットを作成し毎月のスタッフ会議で報告し周知。再発防止の検討を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		法人全体及び事業所でそれぞれ年一回、外部研修で権利擁護の研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束適正化検討委員会を開催し、緊急やむを得ず身体拘束を行う場面の検討を行い、書面にて説明している。	